

氏名 安藤 清美 (ANDO Kiyomi)

所属 社会学部社会学科

職種 教授

生年 1962年

[履 歴]

[学 歴]

1994年3月 亜細亜大学大学院法学研究科博士前期課程修了

1998年3月 帝京大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学

[学 位]

1996年3月 法学修士 亜細亜大学

[職 歴]

1987年4月 NTT System Service(株)第1システム部 (1989年3月まで)

1989年4月 (有)安藤建設取締役 (現在に至る)

1997年9月 教員組織審査 青森中央学院大学経営法学部専任講師
(民法総則, 基礎演習, 専門演習I・II・III, 外書講読)

1998年4月 青森中央学院大学経営法学部専任講師 (2004年3月まで)
(民法総則, 親族相続法, 債権各論, 基礎演習, 専門演習I・II・III,
外書講読)

2000年9月 中央大学法学部通信教育部非常勤講師 (民法, 2001年3月まで)

2001年4月 弘前大学人文学部非常勤講師 (家族法, 2004年3月まで)

2001年4月 青森公立大学経営経済学部非常勤講師 (民法, 2003年3月まで)

2002年11月 教員組織審査 弘前学院大学大学院社会福祉学研究科人間福祉専攻
兼任講師 (家族法特論)

2003年4月 弘前学院大学大学院社会福祉学研究科人間福祉専攻兼任講師
(家族法特論, 2009年度より社会福祉法制特論) (現在に至る)

2003年11月 教員組織審査 東京法科大学院助教授マル合 (家族法, 演習)

2004年4月 青森大学社会学部助教授

2004年9月 青森県営農大学校非常勤講師 (法学, 2006年3月まで)

2005年4月 青森県立保健大学社会福祉主事認定講習会講師 (福祉法学 (民法))
(2006年, 2014年~2019年)

2010年4月 青森大学社会学部教授 (現在に至る)

2019年5月 一般社団法人青森精神医学研究所副理事長 (2021年4月まで)

2023年9月 青森公立大学経営経済学部非常勤講師 (民法, 2023年3月まで)

[受 賞]

特記事項なし

[所属学会]

日本私法学会，日本家族〈社会と法〉学会，青森法学会

[教育活動]

[担当科目] (2024年度)

法学（国際法を含む），日本国憲法，権利擁護を支える法制度，高齢化社会論，
社会福祉専門演習Ⅲ・Ⅳ，入門演習Ⅰ・Ⅱ，卒業論文指導

[卒業研究指導]

2017年度 卒業論文指導 2名，ゼミ論文指導 3名
2018年度 ゼミ論文指導 4名
2019年度 卒業論文指導 1名，ゼミ論文指導 8名
2020年度 卒業論文指導 3名
2021年度 卒業論文指導 3名
2022年度 卒業論文指導 5名
2023年度 卒業論文指導 11名
2024年度 卒業論文指導 5名

[ゼミ指導]

2005年度 4年ゼミ 20名
2009年度 4年ゼミ 19名
2010年度 4年ゼミ 12名
2011年度 4年ゼミ 9名
2012年度 4年ゼミ 13名，2年ゼミ 8名
2015年度 4年ゼミ 7名
2016年度 4年ゼミ 8名
2017年度 4年ゼミ 3名
2018年度 4年ゼミ 4名
2019年度 4年ゼミ 8名，1年ゼミ 5名
2020年度 4年ゼミ 3名，1年ゼミ 5名
2021年度 4年ゼミ 5名，1年ゼミ 10名
2022年度 4年ゼミ 6名，1年ゼミ 10名
2023年度 4年ゼミ 11名，3年ゼミ 5名，1年ゼミ 12名
2024年度 4年ゼミ 5名，1年ゼミ 7名

[教育指導に関する特記事項]

1. 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験支援のための指導を行っている。
2. 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験，公務員試験，教員採用試験等を目指す学生は勿論，就職試験対策としても有用となるよう，公務員試験・社会福祉士等国家試験の過去問や，法学検定試験 4 級・3 級問題を参考に演習問題集（日本国憲法演習問題集，権利擁護を支える法制度等）を作成し，予習復習等に活用している。
3. 法学部生ではない学生が理解しやすいよう、ポイントや重要判例等につきレジュメを作成し配布している。

[研究活動]

[研究テーマ]

- (1) 遺言の方式に関する研究
- (2) 選択的夫婦別氏制に関する研究
- (3) 医療過誤に関する研究
- (4) 土地収用に関する研究

[著書，論文，総説]

(著書)

1. 『入門 民法総則〔第 2 版〕』法学書院（東京）2018 年
2. 『入門 民法総則』法学書院（東京）2015 年
2. 『民法総則・親族相続法 24 講』文教出版会（東京）2001 年（担当箇所：第 12 講～第 24 講 62-171 頁）

(主な論文等)

1. 「遺言者が自筆証書である遺言書の文面全体に故意に斜線を引く行為が民法 1024 条前段所定の「故意に遺言書を破棄したとき」に該当し遺言を撤回したものとみなされた事例」『判例時報』第 2308 号（判例評論 694 号）
2. 「土地収用法 94 条 7 項又は 8 項の規定による収用委員会の裁決の判断内容が損失の補償に関する事項に限られている場合にその名宛人が上記裁決の取消訴訟を提起することの可否」『用地ジャーナル』（2018）第 27 巻第 5 号（大成出版社）
3. 「高齢者を売主とする不動産の売買契約が高齢者の意思能力の欠如を理由として無効とされた事例」『用地ジャーナル』（2017）第 26 巻第 9 号（大成出版社）
4. 「自筆証書遺言の方式に関する一考察 - 遺言能力をも視野に入れて - 」『青森大学・青森短期大学研究紀要』第 33 巻第 3 号
5. 「選択的夫婦別氏制に関する一考察」『青森大学・青森短期大学研究紀要』第 32 巻第 1 号
6. 「豊胸手術の際に切開位置を誤った過失が認められ，これによる慰謝料等の損害賠償請求が認容された事例」『青森大学・青森短期大学研究紀要』第 29 巻第 1 号

7. 「陣痛促進剤投与による過強陣痛により生じた胎児仮死について、分娩監視義務を怠った過失があるとして、病院側の不法行為責任が認められた事例」『青森大学・青森短期大学研究紀要』第 27 巻第 1 号
8. 「近時における自筆証書遺言の方式をめぐる判例の動向」『法律のひろば』第 54 巻第 11 号(ぎょうせい)
9. 「夫婦間の日常家事債務と代理権の有無」『銀行法務 21』第 527 号(経済法令研究会)

[その他の活動]

[公開講座, 講演, セミナー]

1. 青森大学 2022 年度オープンキャンパス社会学部模擬講義「法律は知っている者に味方する」(2022 年 6 月 18 日)
2. 青森大学オープンカレッジ市民大学講座「相続・遺言について～近時の民法改正をも視野に入れて」(2019 年 8 月 2 日)
3. 国土交通省「高齢化社会への対応を踏まえた用地補償と民法に関する講演会」用地関係法人連絡会「成年後見制度の活用に向けた今後の流れ, 課題等について」(2016 年 10 月 5 日)
4. 五戸町教育委員会・五戸町民大学講座「民法学の立場から福祉を考える - 遺言 - 」(2014 年 2 月 21 日)
5. 青森県社会福祉協議会市民後見人登録者研修会・社会福祉法人 青森県社会福祉協議会(平成 25 年度)「権利擁護と成年後見制度 - 個人の尊厳を支え, 権利を擁護するということ - 」(2013 年 10 月 28 日)
6. 平川市「民法学の立場から福祉を考える - 夫婦別姓, 遺言 - 」(2012 年 7 月 26 日)
7. 青森大学オープンカレッジ市民大学「遺言の書き方と手続き」(2010 年 9 月 17 日)
8. 社団法人青森県高齢・障害者雇用支援協会「身近な法律～遺言の知識」(2009 年 11 月 20 日)
9. 青森大学オープンカレッジ市民大学「知っておきたい相続の概要」(2009 年 7 月 10 日)
10. 五所川原市教育委員会・寿大学「民法学の立場から福祉を考える - 夫婦別姓, 遺言 - 」(2008 年 9 月 25 日)
11. 青森大学オープンカレッジ市民大学「法と裁判 - 裁判員制度を中心として - 」(2008 年 6 月 27 日)
12. 青森大学オープンカレッジ市民大学「民法学の立場から福祉を考える - 夫婦別姓 - 」(2007 年 9 月 28 日)
13. 社団法人青森県社交ダンス教師協会定期研修会「身近な法律 - 夫婦別姓, 医療過誤 - 」(2007 年 1 月 28 日)

14. 平川市・創年アカデミー「民法学の立場から福祉を考える - 夫婦別姓, 遺言 -」(2007年1月25日)
15. 青森大学オープンカレッジ市民大学「民法学の立場から福祉を考える - 遺言 -」(2006年6月2日)
16. 中央大学法学部通信教育課程学生会函館支部「民法学の立場から福祉を考える - 遺言 -」(2005年12月4日)
17. 中央大学法学部通信教育課程学生会函館支部「民法学の立場から福祉を考える - 夫婦別姓 -」(2004年12月5日)

(その他)

1. 青森県住宅供給公社横領事件(チリ人妻のために14億円横領)に関する訴訟につき, 青森朝日放送のニュース番組にコメントを寄せる(2006年2月27日, 28日)

[学内各種委員]

1. 青森大学学術研究会委員(2004年4月～現在, 2004・2019年度事務局長)
2. 青森大学ハラスメント防止対策委員会委員(2004年4月～現在, 2019年度より委員長(2021年度1件, 2022年度1件, 2023年度2件, 2024年度3件))
3. 組換えDNA実験安全委員会委員(2013年4月～現在)
4. 医の倫理委員会委員(2014年4月～現在)
5. 青森大学バイオセーフティ委員会委員(2019年7月～現在)
6. 教務委員会教職部会委員(2013年4月～2020年3月)
7. 教務委員会委員(2005年4月～2007年3月)
8. 入学試験作題委員・採点委員(2005, 2006, 2009, 2012, 2013, 2017, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024)

[学外各種委員]

1. 青森県情報公開審査会委員(2000年1月～2006年1月)
2. 青森県介護等体験実施連絡協議会委員(2000年9月1日～2002年8月31日)
3. 青森家庭裁判所委員会委員(2002年6月1日～2008年5月31日)
4. 青森県土地収用事業認定審議会副会長(2002年7月10日～2012年7月9日)
5. 青森地方法務局評価委員会委員(2020年1月)
6. 一般社団法人青森県薬剤師会倫理委員会委員(2022年7月～現在)

[その他]

1. 研究誌論文審査
『青森法政論叢』(青森法学会)

第 11 号投稿論文審査 (2010 年)

第 12 号投稿論文審査 (2011 年)

第 15 号投稿論文審査 (2014 年)

第 16 号投稿論文審査 (2015 年)

第 17 号投稿論文審査 (2016 年)